

オルガノ株式会社 個人投資家さま向け会社説明会資料

(証券コード：6368)

2022年8月24日

本日の説明内容

1. 会社概要
2. オルガノの技術と事業展開
3. オルガノの中長期戦略
4. オルガノの資本政策と株主還元

本日の説明内容

1. 会社概要

2. オルガノの技術と事業展開

3. オルガノの中長期戦略

4. オルガノの資本政策と株主還元

会社概要

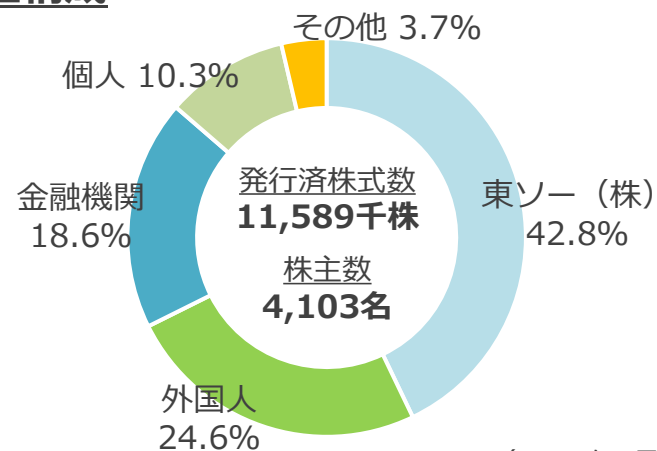
■ 会社概要

社 名	オルガノ株式会社
本社所在地	東京都江東区新砂1丁目2番8号
設 立	1946年5月1日
資本金	8,225 百万円
従業員数	2,476名（連結） 1,090名（単体）
上場 証券取引所	東京証券取引所 プライム市場



代表取締役社長 山田正幸

■ 株主構成



（2022年3月31日現在）

経営理念

オルガノは、水で培った先端技術を駆使して
未来をつくる産業と社会基盤の発展に貢献する
パートナー企業としてあり続けます

オルガノの事業構成

水処理エンジニアリング事業

| プラント事業



純水・超純水設備
排水処理・回収設備
有価物回収設備
プロセス関連設備

| ソリューション事業



設備メンテナンス
運転管理・包括契約
設備増強・改造工事
水処理加工受託

| 事業別売上高

456億円
(49%)

470億円
(51%)

【ソリューション事業】

【プラント事業】

| 顧客分野別売上高

582億円
(63%)

229億円
(25%)

114億円
(12%)

【電子産業】

【一般産業】 【社会インフラ】

機能商品事業

| 水処理薬品事業



排水・冷却水・洗浄・
RO膜・ボイラ等処理剤

| 標準型水処理機器・フィルタ事業



純水・超純水装置
浄水フィルタ

| 食品事業



食品添加剂・加工剤
食品素材

| 事業別売上高

77億円
(40%)

67億円
(35%)

49億円
(25%)

【水処理薬品】

【標準機器・
フィルタ】

【食品】

927億円
(82.7%)

193億円
(17.3%)

連結売上高
1,120億円
(2022年3月期)

※金額は22.3期売上高、%は売上構成比率

オルガノのネットワーク

国内拠点・ネットワーク

いわき工場

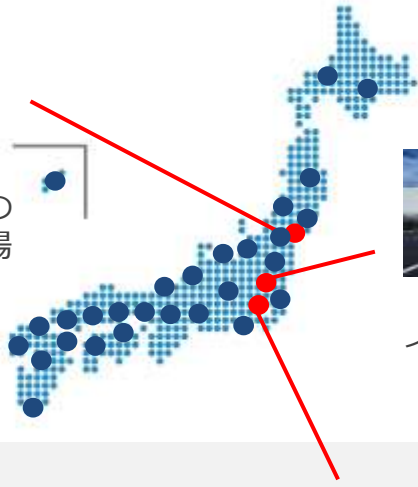


大型水処理設備の
ユニット組立工場

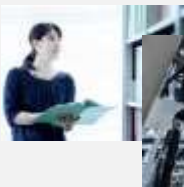
つくば工場



世界最大級の
イオン交換樹脂
精製工場



国内営業・サービス拠点



全国に営業・サービス
ネットワークを展開

開発センター(相模原市)



最先端の水処理・分離精製
技術の研究開発を推進

グローバル・ネットワーク

■東南アジア

マレーシア・タイ
ベトナム・インドネシア

■北米

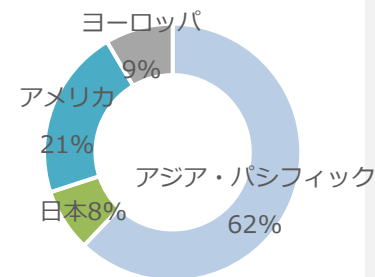
【米国】オルガノUSA
(21年9月設立)

■東アジア

中国・台湾



地域別半導体生産シェア (2021年 WSTS調べ)



アメリカに現法設立(21年9月)

これまで日本・中国・台湾や
マレーシアなど電子産業分野
の集積地を中心に進出

顧客工場の進出に合わせて
2021年9月に米国現法設立、
アリゾナに拠点を設置

オルガノの歩み

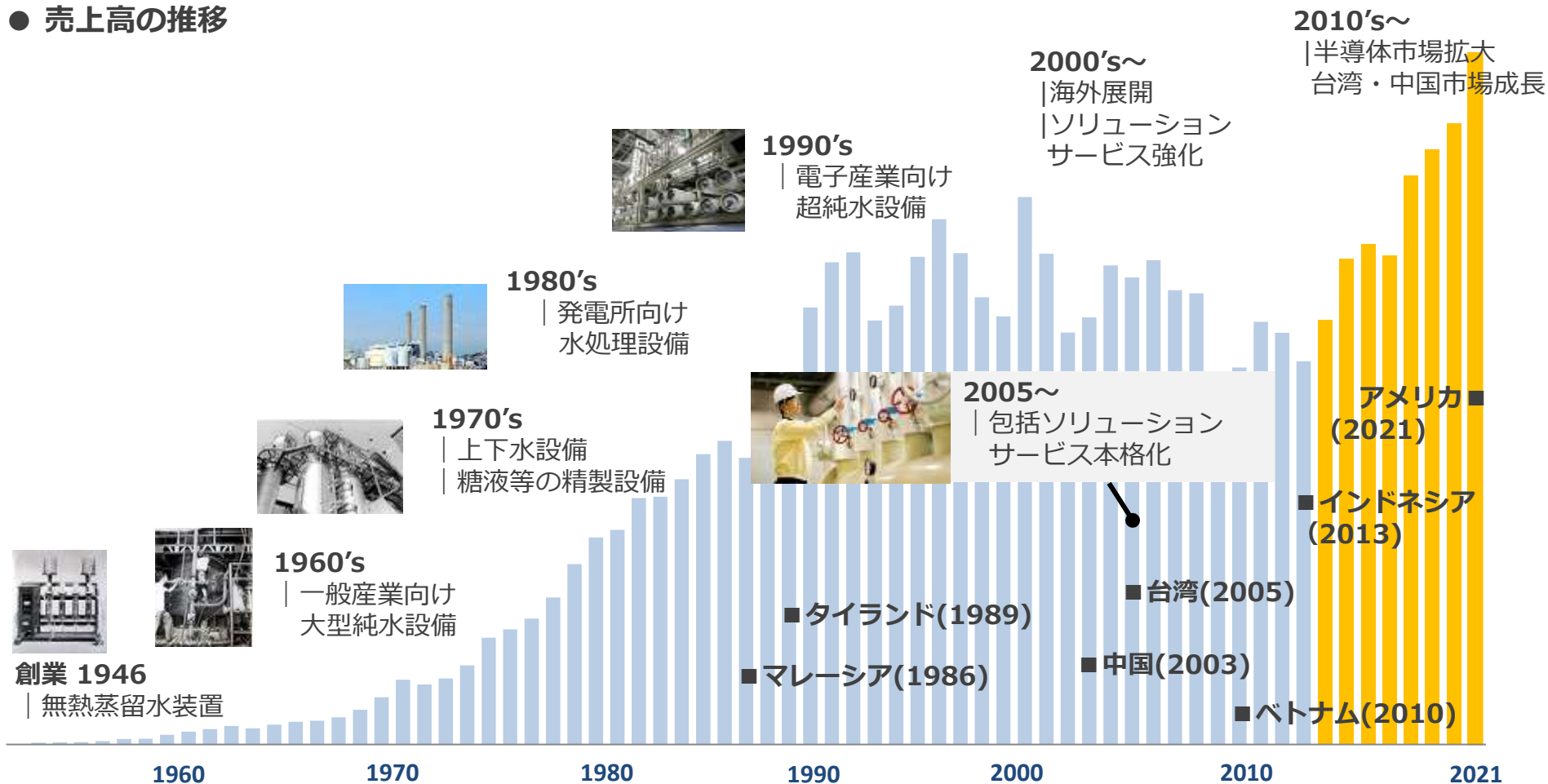
創業期

成長期

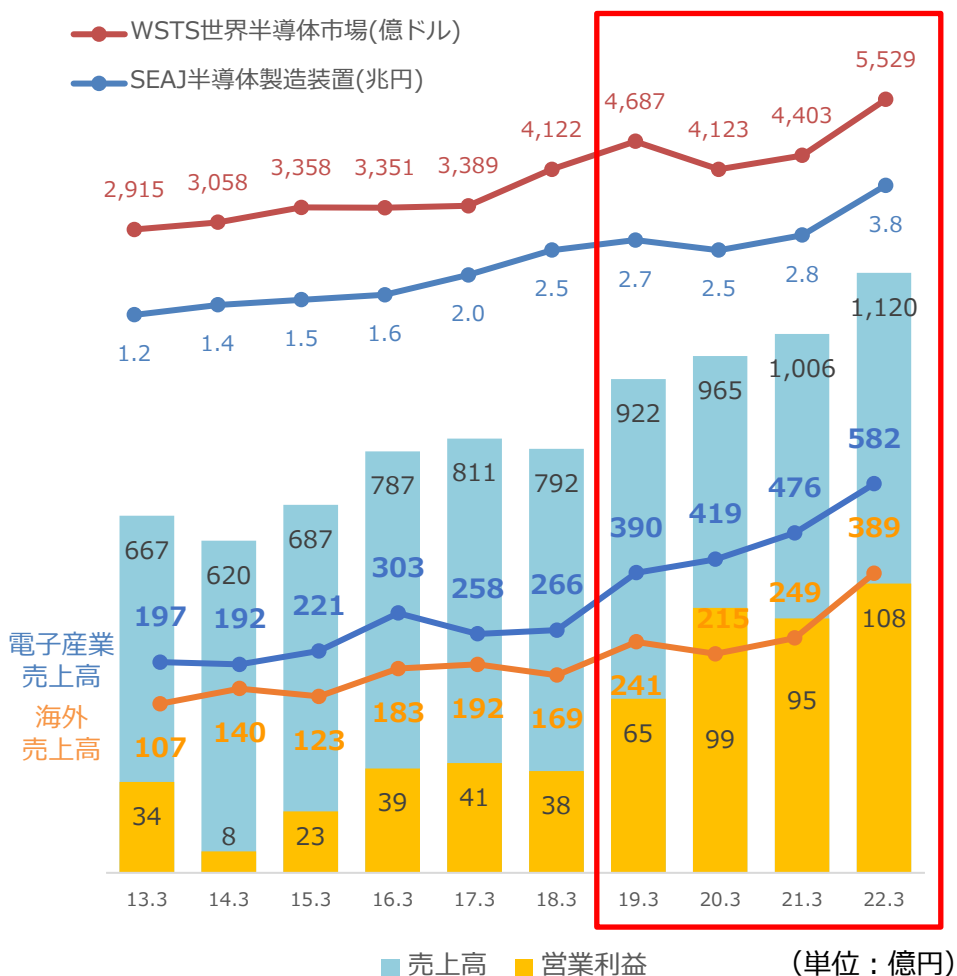
成熟期

飛躍期

● 売上高の推移



飛躍期～直近の業績拡大の背景



電子産業分野の伸長

2018年以降の半導体市場の伸びを背景に当社業績も伸長。

引き続き国内外の電子産業分野向けを中心とした成長が続くものと期待。

台湾・中国市場の拡大

地域別では台湾・中国市場が大きく成長。ファウンドリーやメモリなど各種半導体分野の投資が拡大。

採算性の改善

比較的利益率の高いソリューション・機能商品の伸長に加え、プラント部門の受注採算性改善やコストダウンが奏功。

本日の説明内容

1. 会社概要
2. オルガノの技術と事業展開
3. オルガノの中長期戦略
4. オルガノの資本政策と株主還元

オルガノの技術

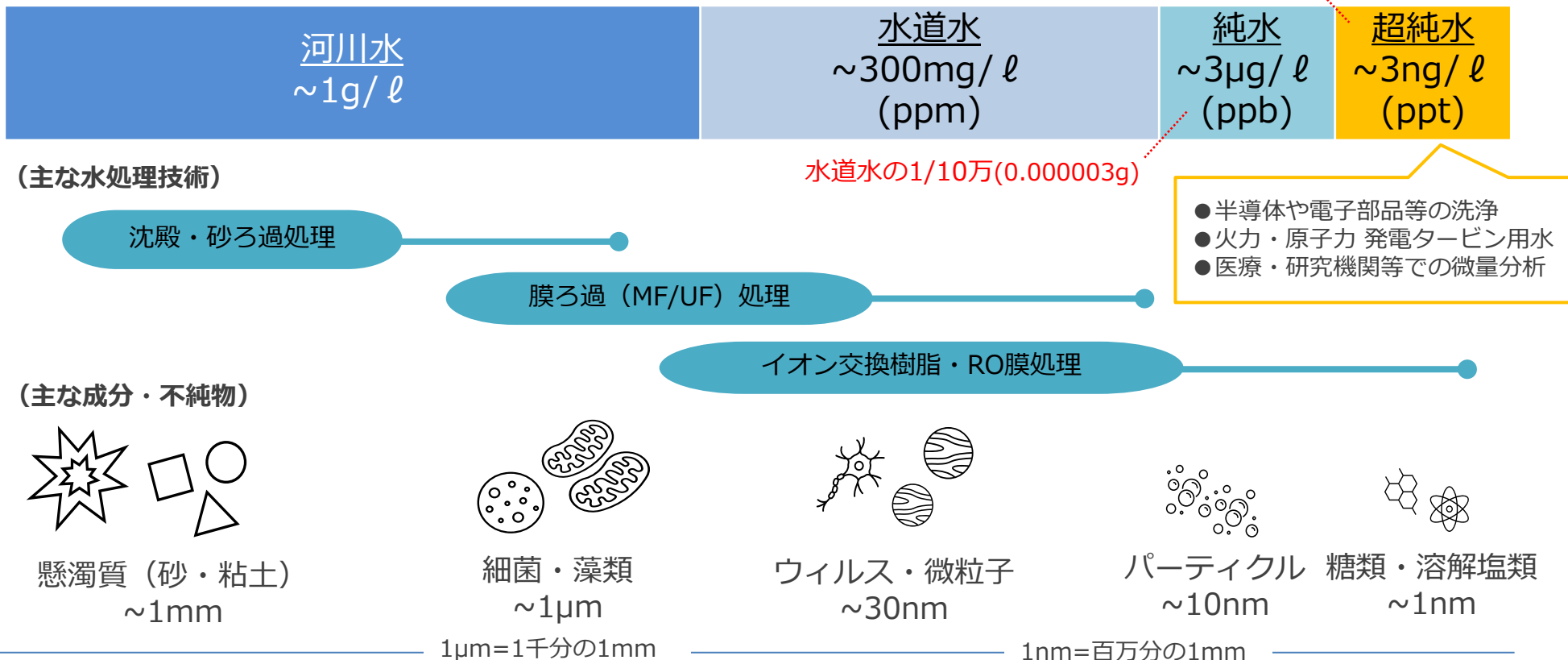
各種技術を組み合わせたシステムで必要な物質を分離・精製



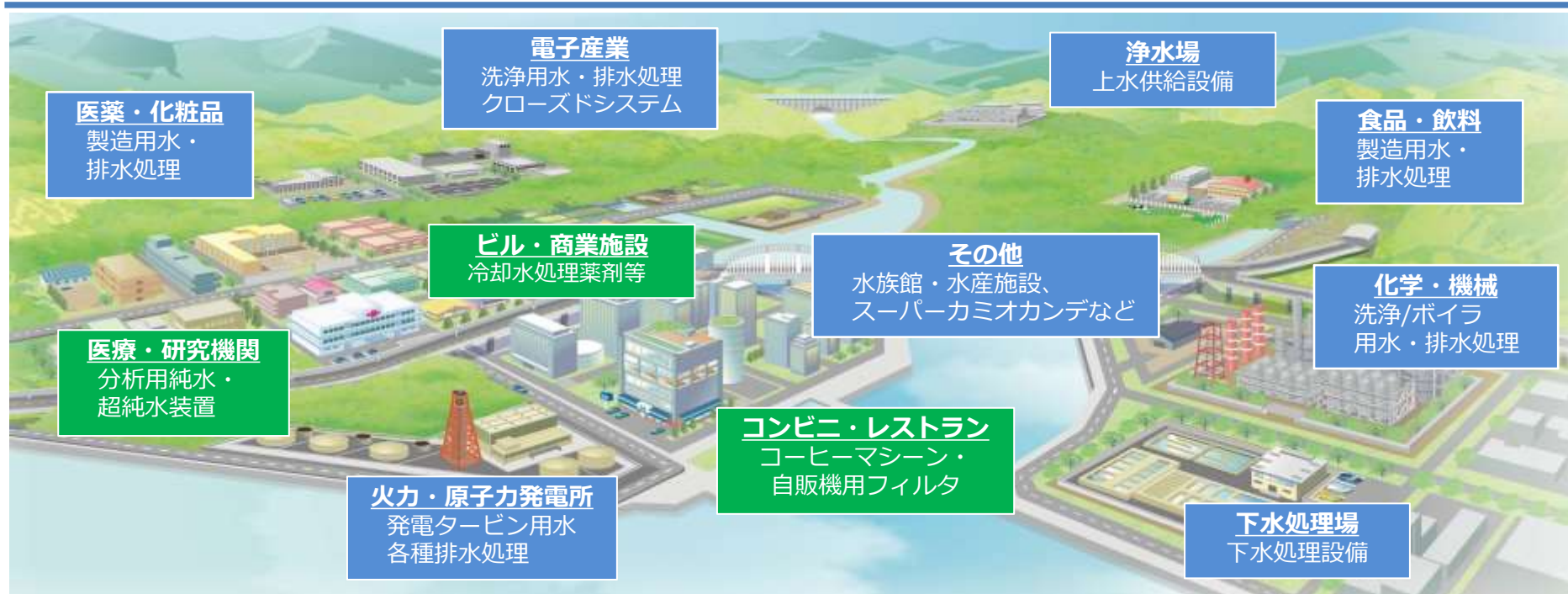
純水・超純水とは・・・？

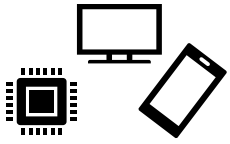
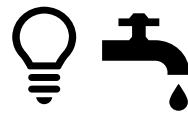
水中の成分・不純物を極限まで除去することで、
製品の歩留まり・品質向上、設備の安定運転などに貢献

■ 1ℓ 当たりの成分・不純物量比較



生活と産業を支えるオルガノの水処理技術



水処理エンジニア事業			機能商品事業		
電子産業	一般産業	社会インフラ	水処理薬品	標準機器・フィルタ	食品
 半導体・パネル・電子部品等	 医薬・化粧品、食品・飲料、機械・化学等	 火力・原子力発電所、上下水道	 各種製造業・ビル/商業施設	 医療・研究機関 コンビニ・レストラン	 食品/飲料・介護/健康食品

水処理エンジニアリング事業：事業のサイクル

研究開発・営業活動

- ・最先端技術の案件など客先と共同で実験を行うケースもあり
- ・新規案件だけではなく、納入設備の改造・増強を提案するケースも

ソリューション事業

- ・納入した設備に対する**メンテナンスサービスはリピート率高い**
- ・当社が設備を保有する加工受託契約や運転管理・包括メンテナンス契約などのソリューション事業を展開
- ・設備保有型のサービスは**2024年度までに約250億円の投資**を計画



プラント事業

設備規模

- ・水処理設備の一件あたり投資規模は**数千万円～百億円超**

施工期間

- ・大型設備の施工期間は**12～18ヶ月程度**

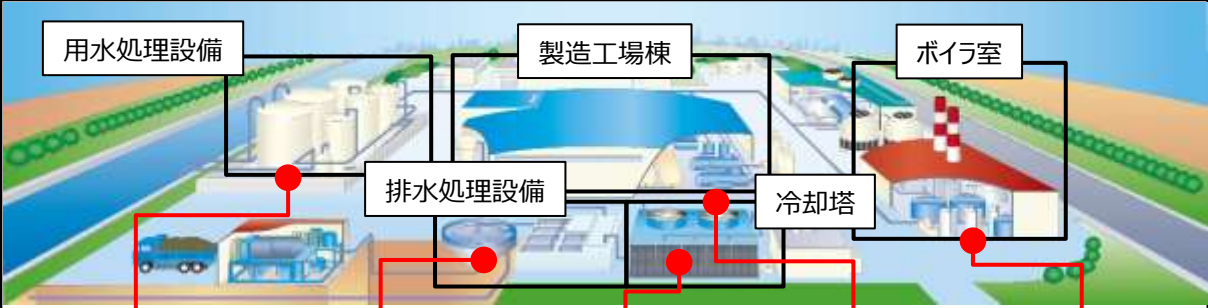
受注・売上の計上

- ・**受注は契約時点**で計上
- ・**売上は工事進捗度**に応じて計上

採算性の管理・動向

- ・一定の追加コストのリスクを工事予算に織り込んで管理
- ・採算性は市場の設備投資動向にも左右される
過去には投資減少による競争激化で利益率低下も

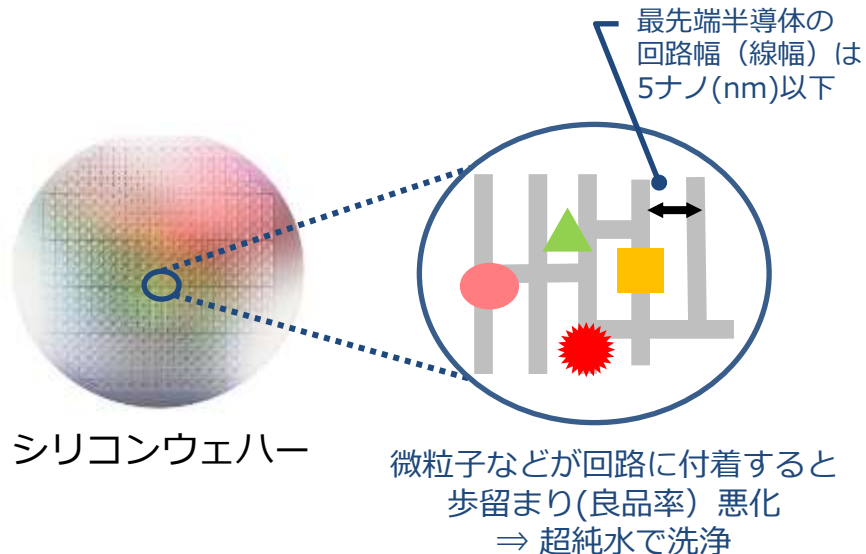
機能商品事業・事業概要

標準型機器・フィルター	水処理薬品
研究機関・病院等での実験・分析・検査などに用いられる高純度の水を提供 ◆超純水製造装置 ◆純水製造装置  超純水装置 ピュアライトμ ピューリック・ピュアライトαシリーズ	 RO水処理薬品 スライムコントロール剤 スケール防止剤等 排水処理薬品 凝集剤・栄養剤・ 消泡剤等 冷却水処理薬品 スライムコントロール剤 分散剤等 洗浄薬品 化学洗浄剤・ スライム剥離剤等 ボイラ水処理薬品 脱酸素剤・分散剤・ 清缶剤等 工場やビルでさまざまな用途に 最適な水質管理を実現できる薬品
標準型機器	食品加工材
飲料水やコーヒーなどに適した美味しく安全な水 ◆コンビニ・厨房・自販機向け浄水フィルター等  オルガノフィルター D-4D	高齢者食、介護食市場や弁当・惣菜などの中食市場、機能性食品・栄養補助食品などに向けた食品素材・食品添加剤など時代の要請に応える食品加工材 ◆ゼリー、たれ等向けのゲル化剤、増粘剤 ◆たん白、食物繊維等の食品素材 等

半導体と水

多くの工程が必要な半導体製造プロセスのうち、3割程度を洗浄工程が占めると言われています。ウェハーの製造、成膜、エッチング、レジストなどの前後で繰り返し行われる洗浄プロセスに超純水が用いられています

超純水で歩留まり改善に貢献



どこが	どれだけ	すぐれた技術力と価値
不純物濃度	1ppt以下	質量濃度は1兆分の1。オリンピック競泳50mプール(2,500m ³)の超純水に溶け込んだ不純物の量は僅か耳かき1さじ(2.5mg)分
製造水量	1000Ton/時	大容量の高性能ポンプや大口径配管を使用。オリンピック競泳50mプール(2,500m ³)が2時間半で満杯に
水の回収率	80%	半導体工場では洗浄用水など大量の水を使用するが、最先端の工場では80%以上の水を回収し再利用。水のリサイクルだけでなく、排水中に含まれる有価物を回収する技術も活用

オルガノはウェハーやチップの洗浄に用いられる超純水の供給設備、洗浄や他の製造工程で生じる排水を無害化・廃棄物を低減するための処理設備、水のリサイクルシステム、排水からフッ素・レアメタルなどの有価物を回収・再資源化するシステムなどを提供しています

スーパーカミオカンデに超純水を供給

超純水製造装置

地下1000mの、水の望遠鏡。

「スーパーカミオカンデ」は、ビッグバンの特徴や銀河の起源など、宇宙からの情報をとらえるための、いわば巨大な水の望遠鏡。ここには、オルガノの純水製造装置がつくりだす、50,000tの超純水が常に満たされています。



A/B ラドン除去空気製造装置

ラドンガスを百万分の1まで除去した空気を、スーパーカミオカンデ実験水槽に送り込みます。こうすることによって、ラドンガスが空気中から水中に溶け込むのを防ぎます。

A 活性炭塔

B 除湿装置

⑤ カートリッジポリシャ
水中のイオンをほぼ完全に除去。特に精製されたイオン交換装置です。

④ 真空脱気装置

ラドンガスや酸素ガスなどを取り除きます。

③ 紫外線殺菌装置

紫外線で太陽菌などの細菌を殺します。

② イオン交換装置

カルシウムやウランなどのイオンを取り除きます。

① RO膜装置 (逆浸透膜装置)

イオン、千万分の1ミリより大きいゴミ、細菌などをろき取るだけ取り除きます。

⑦ スーパーカミオカンデ

地下1000m、50,000トンの超純水。

(稼働時、70トン/時)

押出山の地下水です。直に大気浄水です。



スーパーカミオカンデでは信じられないほどの超純水を使用します。その理由は2つあります。

①まず、水中で発生したチェレンコフ放射を壁に設置した光電子増倍管で検出するため、水中で光が減衰しないようにゴミ等を極度(1ccあたり1万分の1ミリ以上のゴミが100個以下)まで取り除く必要があります。

②また、通常の物質中に含まれるウランやラジウムなどの天然放射性元素が中性子やアルファ線の放射の源になるためこれらを徹底的(1ccあたりラジウム原子50個以下)に取り除く必要があります。

この装置は50,000トンスーパーカミオカンデ実験水槽に超純水を2ヶ月で満たす能力があります。また、一度水槽を満たした後は、1ヶ月に1回の割合で水を循環精製し、更に純度を上げていきます。

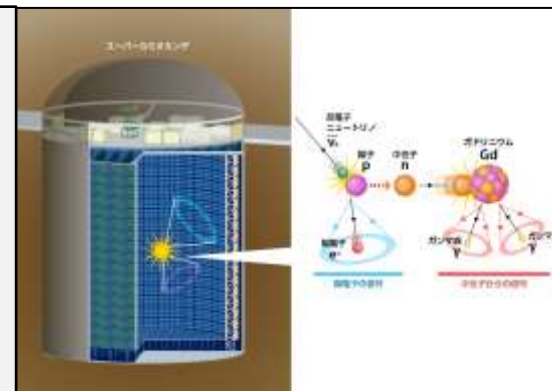
研究開発：東京大学宇宙線研究所
オルガノ株式会社

ニュートリノ観測にも超純水が貢献



オルガノはニュートリノ研究を行う世界最大の
水チェレンコフ宇宙素粒子観測装置“スーパー
カミオカンデ”に50,000tの超純水を供給。
ニュートリノ研究では2002年に小柴先生、
2015年に梶田先生がノーベル賞を受賞

2020年には東京大学とオルガノが共同開発
した特殊なイオン交換樹脂によって、 Gd^{3+} 、 SO_4^{2-} を保持したまま他のイオン除去に成功。
ガドリニウム導入によるニュートリノの観測
感度向上に貢献



出典：東京大学宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設ホームページより

本日の説明内容

1. 会社概要
2. オルガノの技術と事業展開
3. オルガノの中長期戦略
4. オルガノの資本政策と株主還元

2022～2024年度 中期経営計画

【重点分野】 電子産業分野

大型案件の確実な受注・納入【日本・台湾・中国・米国】
競争力あるグローバル・バリューチェーンの構築

【成長地域】 中国・台湾市場

- 研究開発・ソリューション・生産体制の構築・整備
- 中国市場における電子産業分野以外への展開強化

【成長ドライバー】 ソリューションサービス

- デジタルソリューションサービスの基盤整備
- グローバルソリューション体制の整備と品質向上

研究開発

- 売上高の2.5%をめどに開発投資拡大
- 電子産業向けの次世代超純水システム
- 高度分離精製技術による新事業創出
- センシング&デジタル技術の強化
- オープンイノベーションの拡大

水処理薬品

- 薬品+装置+IoTなどパッケージサービスメニューの拡充
- 現地パートナーの開拓を強化し海外展開を拡大

機能材料

- グローバルサプライチェーンの構築と維持
- 差別化された機能材の開発、社会的価値を実現するビジネスモデルの創出

事業基盤の構築

エンジニアリング
体制の強化

ESG/SDGs
への取り組み

安全・コンプライアンスの徹底

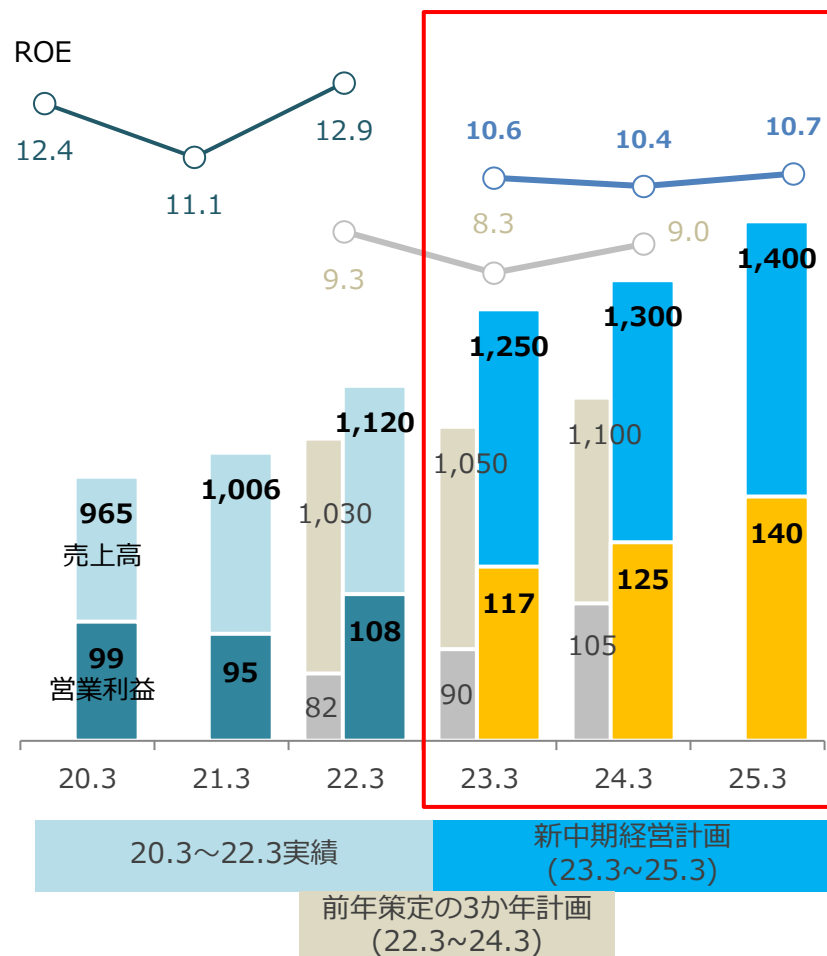
データ活用の
推進

人材の
育成・活用

中期経営計画：23年3月期～25年3月期計画

(単位：億円・%)

売上高・営業利益・ROEの推移



●売上高の拡大

活発な電子産業分野を中心に
1,400億円まで売上を拡大
大型案件の受注・納入に加え、
ソリューション事業も強化

●安定的な利益の計上

売上高営業利益率・ROEとも
安定的に10%以上を計上できる
収益体制を構築

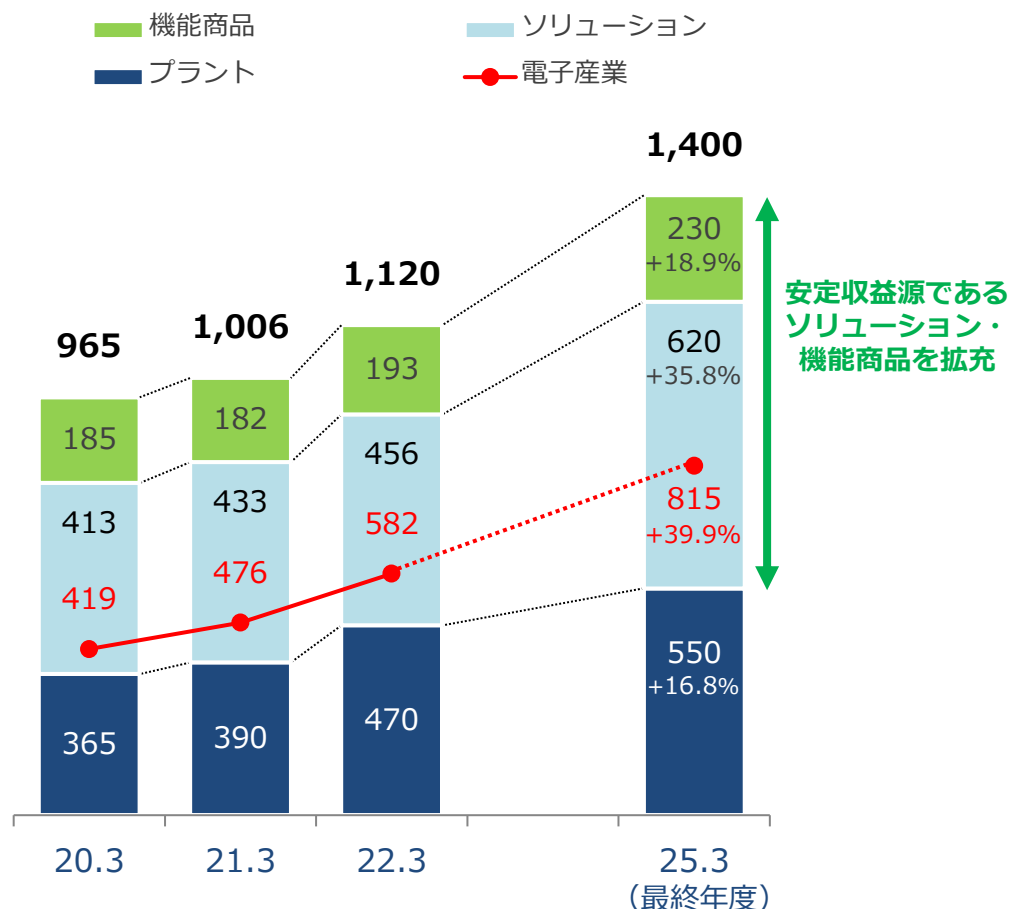
●事業基盤の強化

事業の基盤となる人材の育成や
エンジニアリング体制の強化と共に、
社会的価値と顧客価値の実現を追求

中期経営計画：事業別売上高

(単位：億円・%)

事業別売上高



●電子産業分野

プラント・ソリューションとも電子産業分野を中心に拡大

●プラント事業

日本・台湾・中国・米国で大型半導体プロジェクトを拡大

●ソリューション事業

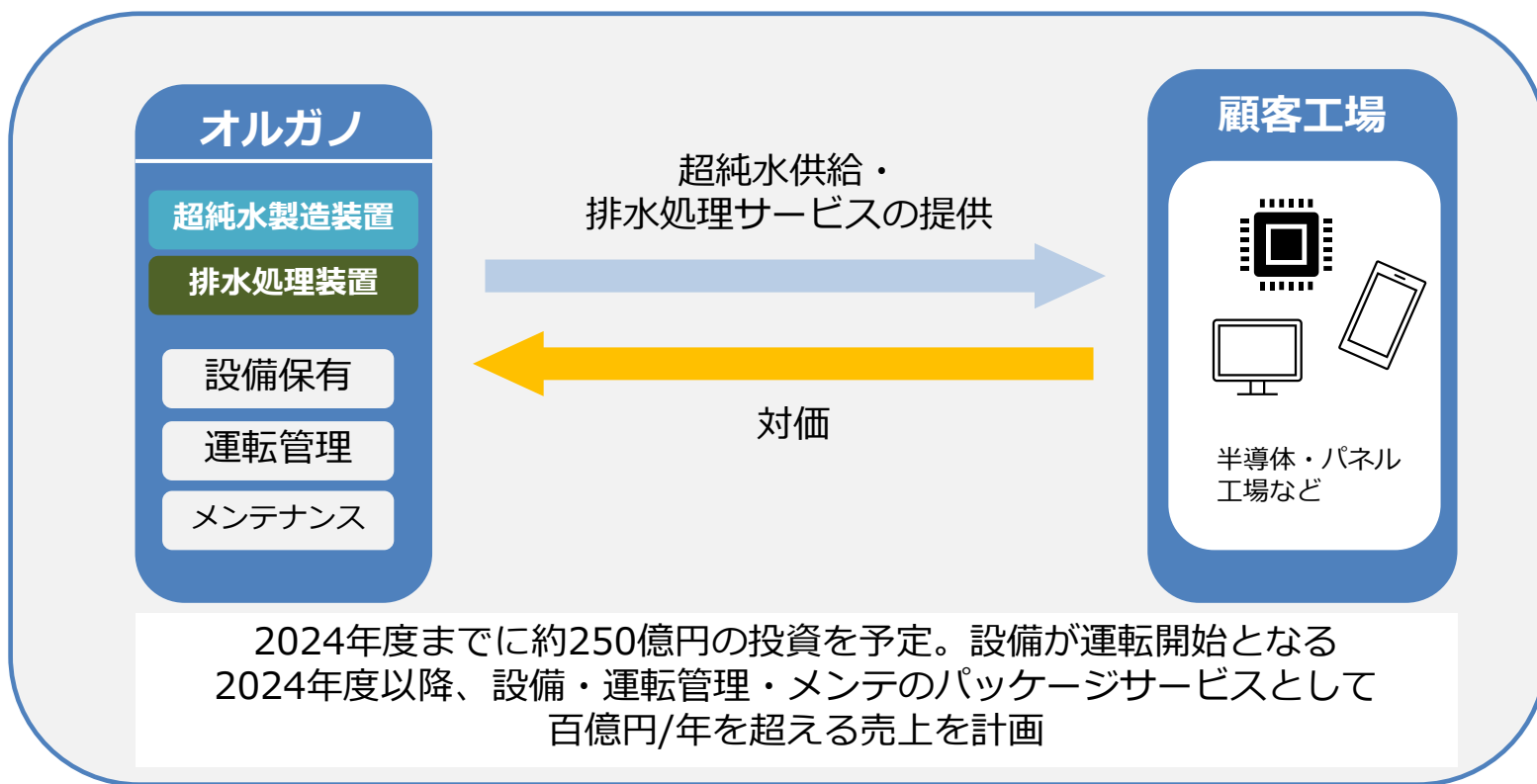
国内で大型の設備保有型サービス開始。加えてソリューションサービスのデジタル化を強化

●機能商品事業

水処理薬品や小型機器を中心に海外での拡販を強化

ソリューションサービスの拡大：設備保有型サービス

顧客工場内にオルガノが自社設備として水処理設備を設置
運転管理・メンテナンスを実施し、水処理サービスの対価を受領



ソリューションサービスの拡大：デジタル化

デジタル技術を活用したソリューションサービスを強化
コストダウンや省エネ・省力化・脱炭素などの顧客価値を提供

遠隔監視サービス オルトピアJの展開



上下水道施設向けの遠隔監視システム「オルトピアJ」の販売が好調に推移、電子産業・一般産業分野への展開を強化。運転データの活用による効率化・省エネや設備改造などの提案型ソリューションサービス拡大を図る

水の熱を利用した省エネ・脱炭素 水熱利用システム



ヒートポンプ技術を活用し、工場等で使用される水の熱をエネルギーとして利用。
50%以上の消費電力・CO2削減を実現

※ 2016年度 省エネ大賞 省エネルギーセンター会長賞

RO膜処理設備の省エネソリューション オルスマートRO



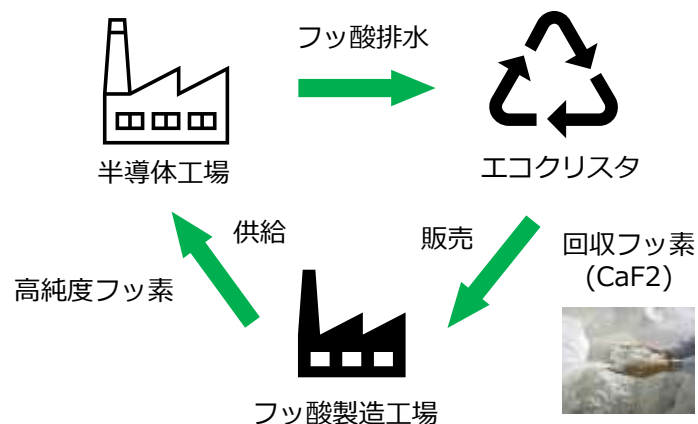
運転管理・遠隔監視技術に水処理薬品の技術을 組合わせた独自のサービスにより、RO膜水処理設備の消費電力・CO2排出量を削減

※ 2021年度 省エネ大賞 審査委員会特別賞

ソリューションサービスの拡大：サステナビリティへの貢献

排水からのフッ酸回収技術 エコクリスタ

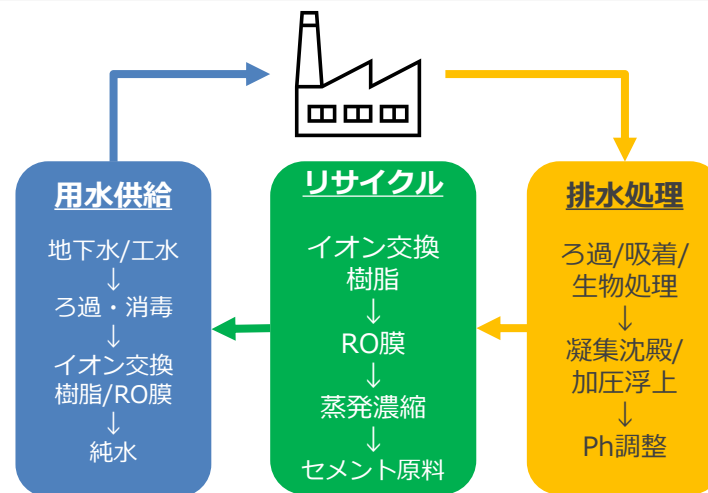
半導体製造に用いられる**フッ酸**を工場排水から回収。高純度のペレットとして精製し、フッ酸の原料としてリサイクル



2014年度 (一社)産業環境管理協会
資源循環技術・システム表彰 経済産業大臣賞

循環型の水資源リサイクルシステム クローズドシステム

工場の排水を分別回収しリサイクル、**雨水以外の排水をゼロ**に。不純物は脱水・乾燥しセメントの原材料として再利用



第24回(2022年3月)日本水大賞 経済産業大臣賞を受賞した
大分キャンノンマテリアル社に排水回収・処理設備を当社が納入
(引用: 大分キャンノン(株) 水資源再利用活動
<https://www.oita.canon/env/water.html>)

オルガノのサステナビリティ方針

わたしたちオルガノは、ステークホルダーとともに、
未来に向けて持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します



E

水で培った最適化技術*で、水環境保全や温暖化防止に貢献する環境配慮型製品・サービスを提供します

S

人権および多様な価値観・個性を尊重し、従業員ひとり一人が成長し活躍する職場づくりを推進します

G

全てのステークホルダーとの対話と連携を重視し、誠実かつ公正な企業活動を遂行します

*水で培った最適化技術には、水処理に関わる分離・精製、分析技術やエンジニアリングにおける技術の追求と、その組み合わせによって社会のニーズに合致した最適なシステムやサービスを提供するという意味が込められています

本日の説明内容

1. 会社概要
2. オルガノの技術と事業展開
3. オルガノの中長期戦略
4. オルガノの財務戦略と株主還元

オルガノの財務戦略：2022~24中計期間

キャピタル・アロケーションのイメージ

【収入】

電子産業分野を中心としたプラント事業の売上拡大に加え、安定収益源であるソリューション事業・機能商品事業の拡大を目指す

研究開発やデジタル投資、人的資本への投資も拡大

資金調達には自己資金・銀行借入を基本に対応

営業利益
+
減価償却費
(EBITDA)

財務CF
(借入金)

【支出】

株主還元

設備投資

成長投資

設備保有型
ソリューション
投資

運転資金増減

増配を継続、早期に配当性向25%以上の実現を目指す

海外体制・サプライチェーンの強化などに向け設備投資やM&Aなど強化

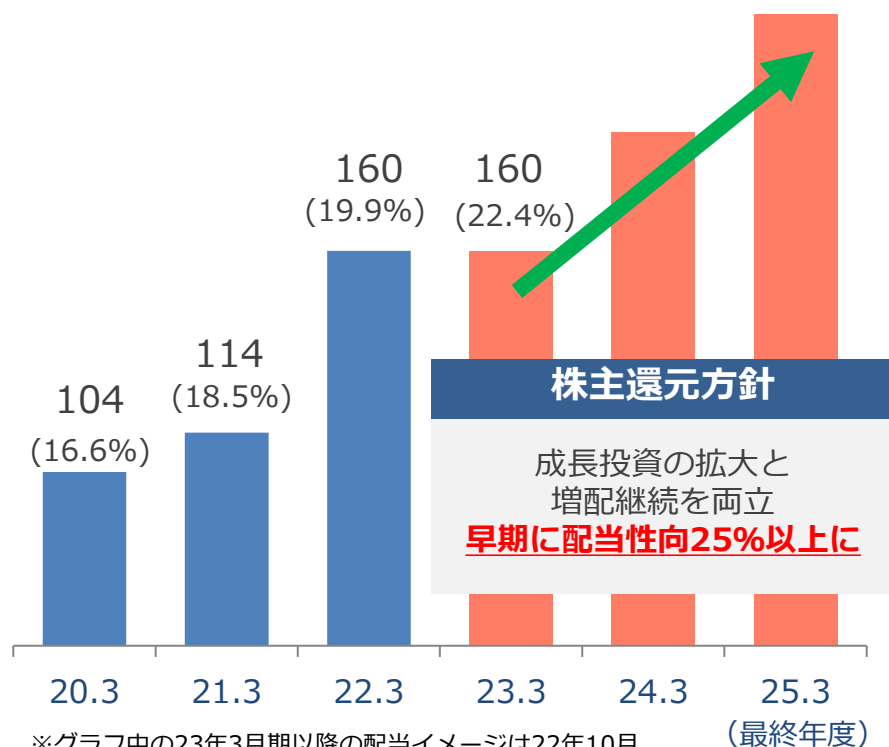
当社が設備を保有して水処理サービスを提供するソリューション案件への投資を拡大
24年度までに合計250億円程度の投資を想定

オルガノの株主還元・IR方針

(単位：円・%)

1株あたり配当金・配当性向の推移

～25年3月期までのイメージ



※グラフ中の23年3月期以降の配当イメージは22年10月
実施予定の株式分割を考慮せず想定しております

●株主還元方針

株主還元は配当を中心に検討。
成長投資の拡大と増配継続を両立し、
早期に配当性向25%以上の水準へ。

●株式分割の実施

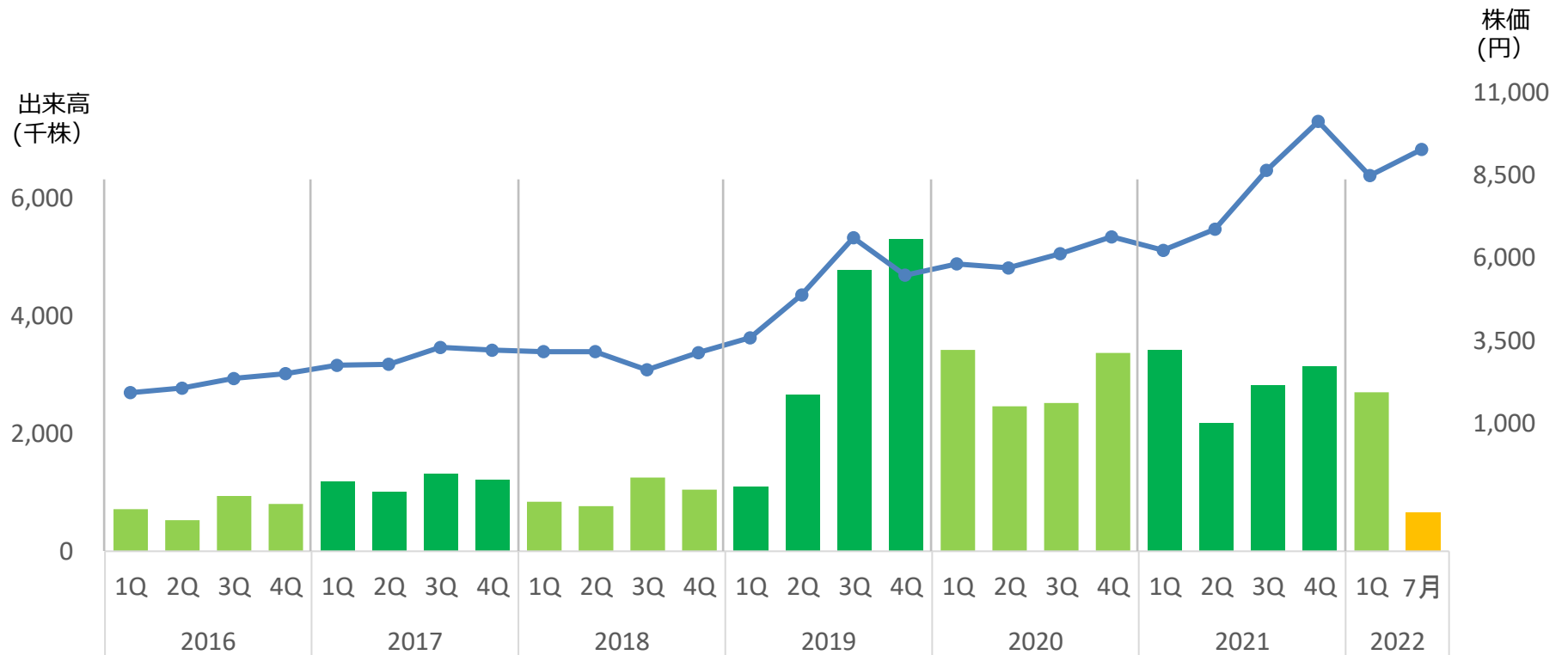
2022年10月1日を効力発生日として
1株→4株の分割を予定。投資単位を
引き下げ、より投資しやすい環境の
整備・投資家層の拡大を図る。

●IR対応の強化

機関・個人投資家向けの説明会等
実施し、対話の機会を拡充。担当
者の増員や英文情報など開示資料
の充実化も図る。

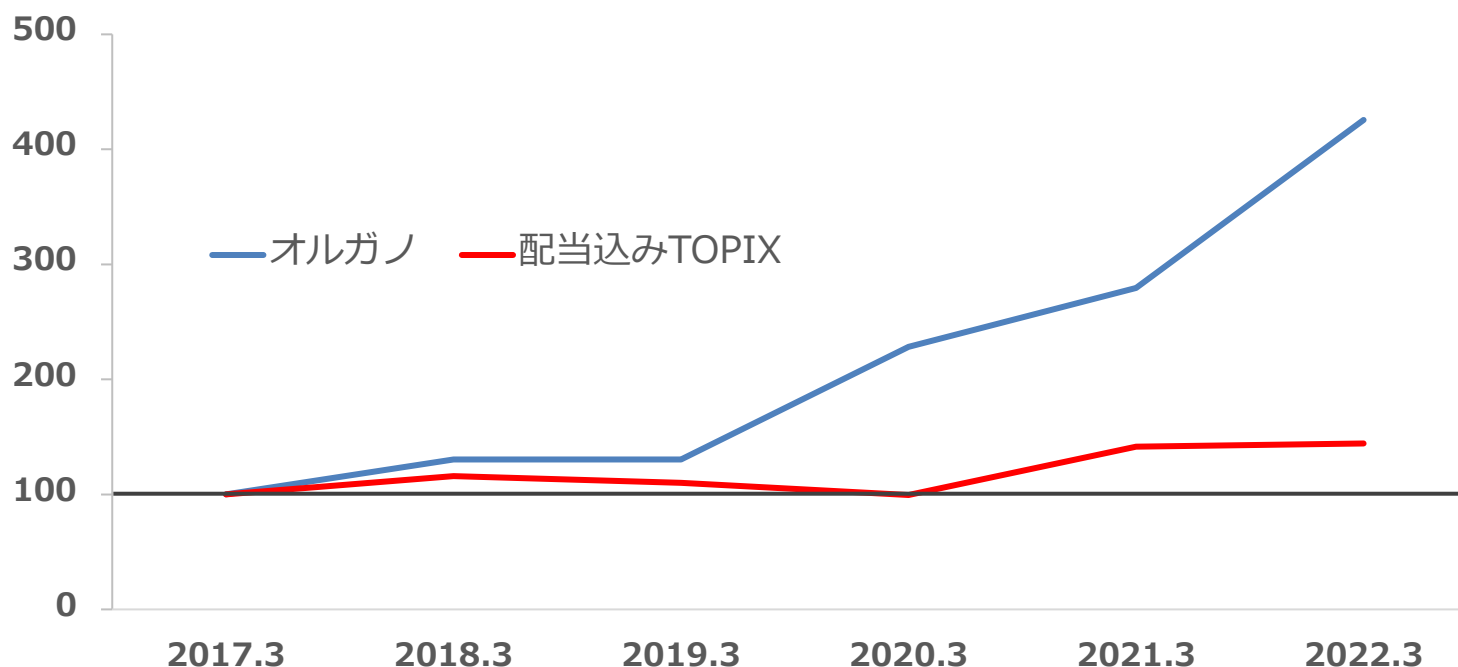
株価の動向

株価	単元株式数	必要投資金額	市場
9,280円 (2022年7月29日現在)	100株	928,000円	東証 プライム市場
2022年10月1日付で 1株→4株の分割を実行予定			



オルガノのTSR(株主総利回り)推移

2019年3月期以降株価上昇・増配継続で
TOPIXを大きく上回る利回りを達成



※2017年3月末の株価を100とした各期末株価と年間配当額
(2017年3月期からの累計額)の指数推移

各種インデックスへの採用進む



オルガノグループは、日本経済新聞社と東京証券取引所が共同で算出する株価指数「JPX日経中小型株指数」の構成銘柄に選定されております。
(2021年8月31日から1年間)



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**



この他、Russell/Nomura Prime、S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数、野村RAFI、FTSE Blossom Japan Sector Relativeなどのインデックスに採用されており、ESG投資・パッシブ運用のベンチマークとしても注目が集まっております。

ご清聴ありがとうございました

ホームページ

<https://www.organo.co.jp>

本資料は会社紹介を目的として制作しております。本資料における計画・予想等の数値は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。